



○粘り強く取り組みました。すべてが大切な宝物！！



夏休みを挟んで4月から100日あった前期が終了しました。新しく西っ子の仲間になった一年生も、掃除や給食など六年生に教えてもらいながら、できるようになってきました。箒を上手に使ったり、雑巾をもって廊下を4人で後退りしながら拭いたりする姿にまで成長できたことは、六年生の優しい声掛けや実際に膝をついてやって見せる姿があったから

こそです。また、「気持ちよいあいさつ」を目指した学級委員会のキャンペーンもあり、校門での挨拶など、六年生以外の学年の児童も参加して元気な声が響いています。委員会のキャンペーンにたくさんの子が参加する姿も、素晴らしいと思います。正に「なかまと共に やりぬく子」の姿だと思います。

各学年で、前期の振り返りを行う集会を開きました。自分たちが高まってきたこと、そしてまだまだ足りない（課題と感じている）ことなどの交流を行いました。その集会の中では、それぞれのクラスが頑張ってきた姿と共に、「仲間と協力し合って…」 「相手の気持ちを考えて…」などの言葉が、印象に残りました。まだまだ仲間として高まっていけるなという感触を得ました。うまくいったこと・いかなかったことのすべてが「大切な宝物」です。仲間と共に作り上げた今の宝物を次のステップに活かして行ってほしいと思います。



○第5term 「見つめ直す」 「本物を目指す」後期へ

今日から、後期が始まりました。新しい係や委員会で頑張っていこうという気持ちでいる人が多いと思います。更に、班長や学級委員などのリーダーになって頑張ろうと考えている人もいるでしょう。新しいことに挑戦しようとする気持ちはとても大切です。その気持ちはキープしつつも、一度立ち止まって、前期の反省や4月当初の気持ちを思い出してほしいと思います。どんな願いを持っていたのか？どんな学級にしたかったのか？どんな最高学年になりたいと考えていたのか？を思い起こした時に、ただ役割(係)が変わるから活動が変わったというだけでなく、役割や活動が変わる中で、自分の取り組み方や仲間への関わり方にも変化が起きてくるのではないかと考えています。それが自分や自分の活動を「見つめ直す」ということなのだと思います。それは、勝手に変化が起こるのではなく、自分の気持ちや意思で「変化を起こす」のです。失敗を恐れなくて、挑戦し続けることです。学習に向かう姿、掃除や給食当番をする姿など、すべてに関わってくることです。

何となく活動していた姿ややり方や活動の仕方を身に付けていた姿から、明確な目的や願いをもつことにより、いつでもできる・誰とでもできる、自分一人であっても自信をもってできる「本物の姿」を目指して、さらに磨きをかける後期にしてほしいと願っています。もう一回り、自信をもって活動できる、責任をもって活動できる、仲間と協力して活動できる、一人一人にきっと成長していつてくれるはずです。

